

Title	表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙 ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1985), 43(4): 175-179
Issue Date	1985-01-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/91500
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和60年1月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第43卷 第4号

ISSN 0525-2997

vol. 43 no. 4

物性研究

1985 / 1

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“□”、イタリック“*—*”、ゴシック“**~**”、ギリシャ文字“**ギ**”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv、†(ダガー)と+(プラス)、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“□”、イタリック“_”、ゴシック“~”、ギリシャ文字“ギ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv、†(ダガー)と+(プラス)、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

[東京大学理学部物理 鈴木(増)研究室]

- (1404) T. Matsubara
Temperature Effect in Surface Reconstruction of Clean and Hydrogen-adsorbed W(001) Surface
- (1405) Hidetoshi Nishimori and Satoru J. Miyake
Ground-State Energy of Heisenberg Model with XY-Like Anisotropy
- (1406) Hidetsugu Kitatani, Seiji Miyashita and Masuo Suzuki
Reentrant Phase Transition in the Two-Dimensional Ising Model with Frustrated Nearest Neighbour Interactions
- (1407) Masuo Suzuki
Decomposition Formulae of Exponential Operators and Lie Exponentials with Some Applications to Quantum Mechanics and Statistical Physics
- (1408) Masuo Suzuki
Divergence of the Transverse Nonlinear Susceptibility along the GT Line in Heisenberg Spin Glasses
- (1409) D. E. Passoja, L. Casper and A. J. Scharman
Analytical Approaches and Expert Systems in the Characterization of Microelectronic Devices
- (1410) Y. Oono and P. R. Baldwin and T. Ohta
Cooperative Diffusion Constant of Semidilute Polymer Solutions
- (1411) Naoake Bekki and Kazuhiro Nozaki
Formations of Spatial Patterns and Holes in the Generalized Ginzburg-Landau Equation
- (1412) Tatsuhiro Imaeda and Kyozi Kawasaki
Dimensional Reduction in Phase-Separating Critical Fluids under Shear Flow
- (1413) Fumihiko Takano
Exact Calculation of Free Energy of Sherrington-Kirkpatrick Model at High Temperatures up to Terms of Order Unity
- (1414) Michiyoshi Oku
Rigorous Solution for One-Dimensional Quantum Ferromagnet with Easy Axis Imbedding a Magnetic Impurity with Easy Plane
- (1415) Hal Tasaki and Takashi Hara

プレプリント案内

- A Model of Random Surfaces Including Arbitrary Surfaces
(1416) H. Matsumoto and H. Umezawa
A Computational Strategy in the Lattice Anderson Model
(1417) Akira Onukia
HeI-HeII Interface and Second Sound Shock Waves near the Superfluid Transition
(1418) Takeo Izuyama
Statistical Mechanics of the Biomembrane Phase Transition in Its Relation with Quantum Mechanical Problem of Hard Core Bosons in Two Dimensions
(1419) Masuo Suzuki
Fluctuation and Formation of Macroscopic Order in Non-Equilibrium Systems

[東京大学理学部物理 和田研究室]

- (528) A. Matsuda and T. Kawakami
Observation of Fluxon and Antifluxon Collision in a Josephson Transmission Line
(529) K. A. Chad and S. Strafstrom
Electron Correlation vs Peirls Distortion in Polyacetylene
(530) T. Miyashita and K. Maki
Path-Integral Method for Soliton-bearing System 2.—Phai 4 and Sine-Gordon Theories in the Classical Limit
(531) F. J. Ohkawa
Superconductivity of Heavy Fermions in Valence Fluctuating Systems
(532) F. J. Ohkawa
Anisotropic Superconductivity in the Kondo Lattice
(533) ICEPP
Results from KAMIOKANDE
(534) M. Koshiha
Proton Decay
(535) G. Casati
Quantum Dynamics of Classical Stochastic Systems
(536) S. Iida
Introduction to the New Frame in Physics
(537) Y. J. Uemura, S. M. Shapiro and L. E. Wegner
Spatial and Dynamic Spin Correlation of CuMn (5 at.%) Spin Glass: Inelastic Neutron

- Scattering Study
- (538) T. Kawata
 Triangular Factorizations and Riemann-Hilbert Problem of the AKNS Equation
- (539) A. Zettl, R. P. Hall and M. Sherwin
 Chaotic Response of Driven Charge Density Wave Systems
- (540) R. P. Hall, M. Sherwin and A. Zettl
 AC Conductivity of the Blue Bronze $KO_0.9MoO_3$
- (541) J. Chihara
 Liquid Metals and Plasmas as Nucleus-Electron Mixtures
- (542) S. Tadaki and S. Takagi
 Phenomenological Theory of the Equilibrium State of the System with Black Hole and Radiation
- (543) H. Miyagi, T. Haseda and T. Nakamura
 Molecular Attractive Force in Small Cavities
- (544) T. Kobayashi and J. Iwai and M. Yoshizawa
 Nanosecond Time-resolved Reflection Spectrum of a Polydiacetylene Single Crystal
- (545) J. C. Hicks and G. A. Blaisdell
 Lattice Vibrations in Polyacetylene
- (546) P. Bak, T. Bohr and M. H. Jensen
 Mode-locking and the Transition to Chaos in Dissipative Systems
- (547) T. Izuyama
 Statistical Mechanics of the Biomembrane Phase Transition in Its Relation with Quantum Mechanical Problem of ...
- (548) E. Abrahams
 Comments on Some Aspects of the Localization and Interaction Problem
- (549) A. Onuki
 A He1-He2 Interface and Second Sound Shock Waves near the Superfluid Transition
- (550) M. Takahashi and J. Paldus
 Coupled Cluster Approach to Electron Correlation in One Dimension 2. Cyclic Polyene Model in Localized Basis

掲 示 板

昭和60年 1月28日

教 授 の 公 募 に つ い て

京都大学基礎物理学研究所

所長 牧 二 郎

今回基礎物理学研究所で教授1名を募集いたしますので、希望者の応募、適任者の推薦をお願いいたします。

1. 任 期 5～10年。重任は認めません。
2. 専 門 分 野 統計物理学
3. 着任希望時期 昭和60年度内のできるだけ早い時期に着任されることを希望します。
4. 提 出 書 類 (イ) 応募の場合
履歴書、発表論文リスト、研究歴、
研究計画、別刷5点以内、着任可能時期
(ロ) 推薦の場合
推薦書、主要論文リスト、略歴、
着任可能時期
5. 締 切 昭和60年 5月31日 (金) 必着
6. 選 考 機 関 基研運営委員会 (7月 5日開催予定)
7. 宛 先 京都市左京区北白川追分町 (〒606)
京都大学基礎物理学研究所
牧 二 郎

封筒の表に「教授応募 (推薦) 書類在中」と明記して下さい。

編集後記

1984年も残り1ヶ月足らずになりました。もっとも読者が目を通しておられる時点では、もう桜の季節かもしれません。現時点では11月号を残すのみで物性研究としては順調な(?)発行になっています。これから年末、さらに年度末にかけて印刷所は大忙しになります。昭和堂印刷の御好意による格安の印刷費が本誌の発行を維持していますので、少しの遅れは読者、投稿者の方も了承していただきたいと思います。かといってやはり遅れることは編集部責任です。来年は遅れを縮小するよう努力して行きたいと考えています。充実した原稿さえあれば編集の工夫で可能だと思います。現在では1ヶ月前に次号の原稿を入稿していますが、2~3ヶ月前に入稿できるようにしたいと思います。

本誌の内容の充実に関しましては、新たに解説欄を不定期に設けることにしました。解説原稿の推薦、投稿を歓迎致します。長さ等の制限はありませんので、内容にあわせて調節下さい。

本格的な解説となると簡単に引き受けていただけない場合や、言葉の説明など簡単な説明で足りる解説などのために「ミニ解説」とか「ワンポイント解説」というものを設けることを編集部では検討しています。原稿用紙2枚以上を目安にして、とりあえず編集委員は誰かに依頼するなり、自分で書いて新春の編集会議に原稿を持参することになりました。場合によっては簡単な提言や相互批判のようなものにも拡大して、本来の自由な討論の場が回復されればと思います。コーヒー・ブレイクのような欄もと考えますが、本体が充実していなければ休みっぱなしになりかねません。しかしまた、実験や計算の合間にコーヒーを飲みながら目を通していただく手軽な雑誌でもありたいと考えています。色々新年の夢になりましたが、物性の研究と本誌の発展のために皆さんの御意見をぜひ編集委員までお寄せ下さい。(K.Y.)

物 性 研 究 第 43 卷 第 4 号 (昭 和 60 年 1 月 号) 1985 年 1 月 20 日 発 行

発行人	蔵 本 由 紀	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	13,200円		

編集後記

1984年も残り1ヶ月足らずになりました。もっとも読者が目を通しておられる時点では、もう桜の季節かもしれません。現時点では11月号を残すのみで物性研究としては順調な(?)発行になっています。これから年末、さらに年度末にかけて印刷所は大忙しになります。昭和堂印刷の御好意による格安の印刷費が本誌の発行を維持していますので、少しの遅れは読者、投稿者の方も了承していただきたいと思います。かといってやはり遅れることは編集部責任です。来年は遅れを縮小するよう努力して行きたいと考えています。充実した原稿さえあれば編集の工夫で可能だと思います。現在では1ヶ月前に次号の原稿を入稿していますが、2~3ヶ月前に入稿できるようにしたいと思います。

本誌の内容の充実に関しましては、新たに解説欄を不定期に設けることにしました。解説原稿の推薦、投稿を歓迎致します。長さ等の制限はありませんので、内容にあわせて調節下さい。

本格的な解説となると簡単に引き受けていただけない場合や、言葉の説明など簡単な説明で足りる解説などのために「ミニ解説」とか「ワンポイント解説」というものを設けることを編集部では検討しています。原稿用紙2枚以上を目安にして、とりあえず編集委員は誰かに依頼するなり、自分で書いて新春の編集会議に原稿を持参することになりました。場合によっては簡単な提言や相互批判のようなものにも拡大して、本来の自由な討論の場が回復されればと思います。コーヒー・ブレイクのような欄もと考えますが、本体が充実していなければ休みっぱなしになりかねません。しかしまた、実験や計算の合間にコーヒーを飲みながら目を通していただく手軽な雑誌でもありたいと考えています。色々新年の夢になりましたが、物性の研究と本誌の発展のために皆さんの御意見をぜひ編集委員までお寄せ下さい。(K.Y.)

物 性 研 究 第 43 卷 第 4 号 (昭 和 60 年 1 月 号) 1985 年 1 月 20 日 発 行

発行人	蔵 本 由 紀	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物 性 研 究 刊 行 会	〒 606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	13,200円		

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	3,000円
2nd volume (10月号～3月号)	3,000円
	計 6,000円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,100円、1 Vol. 6,600円、年間13,200円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
☎ (075)751-2111 内線7051 (075)722-3540(直通)

物 性 研 究 43-4 (1月号) 目 次

○対流系における局所エントロピー生成速度Ⅱ……………	高山光男……………	141
○講義ノート		
中性子散乱と構造相転移……………	山田安定……………	153
○プレプリント案内……………		175
○掲示板		
教授の公募について……………		178
○編集後記……………		180

物 性 研 究 43-4 (1月号) 目 次

○対流系における局所エントロピー生成速度Ⅱ	高山光男	141
○講義ノート		
中性子散乱と構造相転移	山田安定	153
○プレプリント案内		175
○掲示板		
教授の公募について		178
○編集後記		180